別記第１号様式（第７条）

年　　月　　日

（あて先）市原市長

　　　　　　　　　　申請者　住所（所在地）

　　　　　　　　　　　（ふりがな）

氏名（名称）

　　　　　　　　　 電話

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付申請書

　市原市瓦屋根耐風改修促進事業について補助金の交付を受けたいので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第７条の規定により下記のとおり申請します。

記

１　所在地　　市原市

２　添付書類

1. 事業計画書（別記第２号様式）
2. 瓦屋根現況調査報告書（別記第３号様式）
3. 現況写真
4. 案内図
5. 改修の内容及び屋根面積が分かる図面等
6. 改修に要する経費が分かる見積書の写し
7. 所有者等であることを証する書類
8. 補助対象建築物が固定資産税の評価を受けていることを証する書類
9. 所有者及び交付申請を行う補助対象者の市税の完納を証する書類
10. 誓約書（別記第４号様式）
11. 同意書（別記第５号様式）（交付申請を行う補助対象者以外の所有者がいる場合）
12. 委任状（代理人に委任する場合）
13. その他市長が必要と認める書類

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※市原市使用欄 | 上記補助金の交付申請について、内容を審査したところ、適正と認められる（認めらない）ので、別紙のとおり交付決定（却下）してよろしいか。 | 受付欄 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

第２号様式（第７条）

事業計画書

１．建築物の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 市原市 |
| 建築年 | 　　　　　　　　　　年 |
| 建築物の構造 | 　　　　　　　　　　造 |
| 階数 | 　　　　　　　　　　階 |
| 用途 |  |

２．事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の形態 | １　告示基準に適合する瓦屋根への全面改修２　スレート・金属屋根等への全面改修 |
| 屋根面積 | 　　　　　　㎡ |
| 着手及び完了予定年月日 | 着手：　　　　年　　月　　日完了：　　　　年　　月　　日 |
| 補助対象事業費 | 　　　　　　　　　円（税抜） |

３．施工業者

|  |  |
| --- | --- |
| 施工者 | 名称：　　　（法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名）所在地：建設業許可：（　　　　）□大臣　□知事（　　-　　）第　　　　　号　　　　　　業種（　　　　　　　　　　） |

※市記入欄

|  |  |
| --- | --- |
| 補助額 | ①補助対象事業費　　　　　　　　円（税抜）×２３％＝　　　　　　　　　　円②屋根面積　　　　　　　㎡× ２４，０００円×２３％＝　　　　　　　　　　円③限度額　５５２，０００円①～③のいずれか低い額（１，０００円未満切り捨て）補助額　　　　　　　　　　　円 |

第３号様式（第７条）

瓦屋根現況調査報告書

　　　　年　　月　　日

　　　　　 調査者　所在地

　　　　　　　　　　　　　　（ふりがな）

　　　　　氏名　　　　　　 　　 　　　　　印

電話

資格：□建築士　　　　　　□瓦屋根診断技士

　　　□瓦屋根工事技士　□かわらぶき技能士

登録番号（　　　　　　　　　　　　）

　当該建築物の屋根を調査した結果、令和２年国土交通省告示第１４３５号により改定された昭和４６年建設省告示第１０９号の規定への適合については下記のとおりでしたので報告します。

記

１　建築物の概要

（１）申請者

（２）所在地　　　市原市

２　調査結果

　※以下の項目のいずれかが不適合の場合、告示基準を満たさない判定となります。

　　ア　防災瓦（隣接する瓦をフック等で有効に組み合わせたもの）である。

□適合　　　□不適合

イ　アで防災瓦に適合とした場合

A　棟部の全ての瓦がねじで緊結してある。

□適合　　　□不適合

B　軒・けらば部分の全ての瓦が３本のくぎ又はねじで緊結してある。

□適合　　　□不適合

C　平部の全ての瓦がくぎ又はねじで緊結してある。

□適合　　　□不適合

注）調査者は要綱第２条第２号に規定する資格者であること。

　　本人が手書きしない場合は、押印してください。

第４号様式（第７条）

年　　月　　日

（あて先）市原市長

　　　　　　　　　　申請者　住所（所在地）

　　　　　　　　　　　（ふりがな）

　氏名（名称）

　　　　　　　　　 電話

 ※）本人が手書きしない場合は、押印してください。

誓　　約　　書

市原市瓦屋根耐風改修促進事業について補助金の交付申請にあたり、私は、次に掲げる事項について誓約します。

（１）　建築物の販売を目的として行うものではありません。

（２）　「市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱」第４条第１号から第７号までのいずれにも該当しません。

（３）　補助金を受領した日から起算して５年を経過する日まで、屋根の撤去は行いません。やむを得ず、撤去する場合は、事前に市に報告し、承認を求めます。

（４）　建築基準法その他各種法令を遵守します。

第５号様式（第７条）

　年　　月　　日

同　意　書

　市原市　　　　　　　　　　　　　　　の　　　　　　　について、　　　　　　　　　　　　が市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金を利用し、屋根改修工事を行うことを、所有者として同意します。

住　所

氏　名

※）本人が手書きしない場合は、押印してください。

第６号様式（第８条第１項）

　第　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付決定通知書

年　　月　　日付けで申請のあった市原市瓦屋根耐風改修促進事業について、下記のとおり補助金の交付を決定したので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第８条第１項の規定により通知します。

記

１　　所在地　　　　　　　　　　　市原市

２　　補助金交付決定額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

３　　交付決定に伴う条件

第７号様式（第８条第１項）

　　第　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付申請却下通知書

年　　月　　日付けで申請のあった市原市瓦屋根耐風改修促進事業については、下記の理由により補助金交付の申請を却下したので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第８条第１項の規定により通知します。

記

１　　所在地　　　　　　　　　　　市原市

２　　補助対象にできない理由

第８号様式（第９条第１項）

年　　月　　日

（あて先）市原市長

　　　　　　　　　　　申請者　住所（所在地）

　　　　　　　　　　　（ふりがな）

　氏名（名称）

　　　　　　　　　　電話

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金変更・中止申請書

 　　　　年　　月　　日付け　　第　　　　　号で補助金の交付の決定を受けた市原市瓦屋根耐風改修促進事業の変更・中止について、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第９条第１項の規定により下記のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 市原市 |
| 変更または中止の理由 |  |
| 変更の内容（変更の場合） | （変更前） |
| （変更後） |
| 変更または中止年月日 | 年　　月　　日 |
| 添付書類 | ※交付申請時の添付書類に変更がある場合は変更した書類を添付してください。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※市原市使用欄 | 上記補助金の変更・中止申請について、内容を審査したところ、適正と認められる（認めらない）ので、別紙のとおり通知してよろしいか。 | 受付欄 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

第９号様式（第９条第２項）

　　第　　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金変更・中止承認通知書

年　　月　　日付けで申請のあった市原市瓦屋根耐風改修促進事業の変更について、下記のとおり変更・中止を承認したので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第９条第２項の規定により通知します。

記

１　　所在地　　　　　　　　　　　市原市

２　　変更承認内容

３　　補助金交付決定額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

４　　変更交付決定に伴う条件

第１０号様式（第９条第２項）

　　第　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金変更却下通知書

年　　月　　日付けで申請のあった市原市瓦屋根耐風改修促進事業の変更について、下記の理由により変更申請を却下したので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第９条第２項の規定により通知します。

記

１　　所在地　　　　　　　　　　　市原市

２　　却下の理由

第１１号様式（第１０条第１項）

年　　月　　日

市原市瓦屋根耐風改修促進事業完了報告書

（あて先）市原市長

　　　　　　　　申請者　住所（所在地）

　　　　　　　　　　　（ふりがな）

氏名（名称）

　　　　　　　電話

年　　月　　日付け　　第　　　　　　号で補助金の（交付決定・変更承認）を受けた市原市瓦屋根耐風改修促進事業が完了しましたので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第１０条第１項の規定により下記のとおり報告します。

記

1. 所在地　　　　　　　　　　　　市原市
2. 事業の完了年月日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日
3. 補助金交付決定額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

【添付書類】

⑴　屋根工事完了確認書（別記第１２号様式）

⑵　施工写真

⑶　補助事業に係る契約書、若しくはこれに類するものの写し

⑷　補助事業に要した経費の領収証の写し

⑸　その他市長が必要と認める書類

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※市原市使用欄 | 上記完了報告について、内容を審査したところ、適正と認められるので、別紙のとおり補助金の額を確定してよろしいか。 | 受付欄 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

第１２号様式（第１０条第１項）

屋根工事完了確認書

　　　　年　　月　　日

１　下記建築物の屋根工事について、施工要領書等に基づき適切な施工したことを報告

します。

施工者　所在地

　　　　　　　　　　　　　　（ふりがな）

　　　　　名称　　　　　　 　　 　　　　　　　　　印

電話

２　下記建築物の屋根工事について、改修後の瓦屋根は告示基準へ適合していることを

確認したので報告します。

調査者　所在地

　　　　　　　　　　　　　　（ふりがな）

　　　　　氏名　　　　　　　　　　 　　 　　　　　印

電話

資格：□建築士　　　　　　□瓦屋根診断技士

　　　□瓦屋根工事技士　□かわらぶき技能士

登録番号（　　　　　　　　　　　　）

記

建築物の概要

申請者

所在地　　　市原市

注）調査者は要綱第２条第２号に規定する資格者とする。

瓦屋根以外への改修の場合は、１の施工者による確認のみで良い。

本人が手書きしない場合は、押印してください。

第１３号様式（第１１条）

　　第　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金確定通知書

年　　月　　日付けで報告のあった市原市瓦屋根耐風改修促進事業について、下記のとおり補助金額が確定したので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第１１条の規定により通知します。

記

　　補助金確定額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

第１４号様式（第１２条）

年　　月　　日

（あて先）市原市長

　　　　　　　　申請者　住所（所在地）

　　　　　　　　　　　（ふりがな）

　氏名（名称）　　　　　　　　　　印

連絡先（電話番号）

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付請求書

年　　月　　日付け　　第　　　　　　号で確定通知のあった補助金の交付について、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第１２条の規定により下記のとおり請求します。

記

１　請求金額　　　　金　 　　　円

２　振込先

金融機関名

口座種類　　　　普通・当座

口座番号

フリガナ

口座名義人　　　　　　　　　　　　　　　　　（※申請者のものに限る。）

【押印を省略できる場合】

債権者の署名がある場合又は次のいずれにも該当する場合において、押印を省略できるものとする。

⑴　債権者名義の預金口座に振り込む場合

⑵　債権者の連絡先（法人その他の団体にあっては、責任者及び担当者の氏名及び連絡先）の記載がある場合

第１５号様式（第１３条第２項）

　　第　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付決定取消通知書

年　　月　　日付け　　第　　　　　　号で補助金の交付の決定をした市原市瓦屋根耐風改修促進事業については、下記の理由により交付決定を取り消したので、市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第１３条第２項の規定により下記のとおり通知します。

記

１　　所在地　　　　　　　　　　　市原市

２　　補助金の交付決定を取り消した内容

３　　補助金の交付決定を取り消した理由

第１６号様式（第１４条）

　　第　　　　　　　号

年　　月　　日

氏名（名称）　　　　　　　　　　　様

市原市長

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金返還命令書

市原市瓦屋根耐風改修促進事業補助金交付要綱第１４条の規定により、下記のとおり交付した補助金の返還を命じます。

記

１　　所在地　　　　　　　　　　　市原市

２　　返還すべき額

３　　返還期限　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

４　　返還を命ずる理由